

## 介護職員等特定処遇改善加算にかかる情報公表「見える化要件」について

### ・「介護職員等特定処遇改善加算」について

「介護人材確保のための取り組みをより推進するために介護職員の更なる処遇改善を進める」ことを目的に令和元年10月の介護報酬改定時に創設されました。

当会におきましても加算算定を行っており、当該加算算定には下記の要件を満たしている必要があります。

- ①介護職員処遇改善加算（Ⅰ）～（Ⅲ）のいずれかを算定している
- ②職場環境要件について、「資質の向上」「労働環境・処遇の改善」「その他」の中で、それぞれ1つ以上の取り組みを行っている
- ③賃金改善以外の処遇改善の取り組み（②）の「見える化」を行っている

### ・「見える化」とは

介護サービスの情報公表制度や自社ホームページを活用して、加算の取得状況、賃金改善以外の処遇改善に関する具体的な取組内容を公表することです。

### ・職場環境要件の提示について

入職促進に 向けた取組	職場環境等要件	当会の具体的な取組内容
	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	合同職場説明への参加や、インターン・実習の積極的な受け入れ、研修受講制度の整備を行っている
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用を行っている
資質の向上 やキャリア アップに向 けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	自社にて介護福祉士実務者研修、介護福祉国家試験対策講座、喀痰吸引等研修、ケアマネ試験対策講座を開講し、職員に受講を推進している。また、受講料の免除制度も導入している
	エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入	法人人事担当者および事業所内担当者を選任し、仕事やメンタル面のサポートを行っている。
両立支援・ 多様な働き 方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	勤務表作成前の希望休申請制や、積極的に正規職員への転換の推進を行っている
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	積極的な年次有給休暇取得の推進を行っている
腰痛を含む 心身の健康 管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	介護技術動画および介護技術評価スケールを作成し、腰痛対策に努めている
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	年次健康診断、ストレスチェック、腰痛チェックの実施
	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施	社内にて管理者研修会の実施

	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故対応マニュアルの作成・整備を行っている
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	リフト浴、センサーを導入している
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	クラウド型の介護ソフトを導入し、事業所間の情報共有を図っている
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	定期的に施設全体および事業所毎にミーティングを実施
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	社内にて管理者研修会の実施